

# 令和6年度豊かなむらづくり全国表彰事業（近畿ブロック）

## 近畿農政局長賞

おおやまちくのう すい かん かい ひょうごけんたんばさきやまし  
大山地区農・水・環の会（兵庫県丹波篠山市）



【自走式ラジコンによる草刈】



【女性グループがつくる「とふめし弁当」】



【小学生の大山スイカ栽培体験】

### 【概要】

#### 1 むらづくりの動機・背景

大山地区農・水・環の会（以下、大山地区の会という。）は、多面的機能活動組織として平成24年度に発足し、農業者と地区住民が一体となって、農業用排水路や農道の共同部分の保安全管理活動を10集落1組織で開始した。

各集落の課題は様々で、集落単独による課題解決は難しかったことから、組織の更なる連携強化を図るため令和2年度に広域協定を締結した。

また、地域固有の資源や食文化などの伝承、移住者の受け入れを活かそうと他団体と連携してむらづくりに取り組んでいる。

#### 2 むらづくりの内容

大山地区の会は、自治会、農会、土地改良区、PTA、（一財）大山振興会から構成され、本部組織の広域運営委員会が集落独自の課題を共有し合意形成を図っており、

- （1）老朽化が進む水路や農道などの維持管理・更新等による農業用施設の長寿命化
- （2）高性能草刈り機の導入により急傾斜地等の草刈り作業の省力化。また、獣害防止柵の整備による野生動物の農地への進入防止
- （3）女性グループ「結良里（ゆらり）」による、郷土料理「とふめし」の伝承、地域の希少価値である伝統野菜の「天内芋（あもちいも）」、「大山スイカ」等の収穫体験や販売等を通じた地域住民、都市住民と交流促進
- （4）農地周辺に繁茂した竹林の整備と竹チップの堆肥利用。おかめ桜の植栽、里山整備による景観改善
- （5）地域と学校の協働による「地域参加型学校づくり」活動として、伝統野菜の食育、農業体験学習の実施などに取り組んでいる。

これにより、大山地区の魅力の再発見と次世代を担う人材づくりが進められ、会のモットーである「コミュニティを大切にした、持続可能な地域づくり」が実現されている。